

テニス大会出場時の服装と用具のコード(JTAルールブック抜粋)

2026/4/1

横浜市民大会にて試合に参加する時にはプレーヤーはテニスウェアを着用しなければならない。
 その際、JTAルールブックに記載されたロゴ規程を可能な限り遵守すること。尚、ウェアの適否はレフェリーが
 最終判断をし、必要に応じてアンパイアまたはレフェリーより服装または用具の交換を指示される。

シャツ セーター 上着	男子	両方の袖それぞれに39cm ² 以内の商業ロゴ又は製造業者ロゴを2つ。 商業ロゴまたは製造業者ロゴを39cm ² 以内の1パッチに2つまで付けられる。 文字を入れてもよい。文字のない製造業者ロゴは77.5cm ² 以内で1つでも複数繰り返しでも、 各袖に製造業者ロゴがない場合は袖に、またはわきの縫い目のどちらかに付けてよい。 袖ありおよび袖なしシャツの前身頃または襟に39cm ² 以内の製造業者ロゴまたは 商業ロゴを2つ。前身頃または襟に1つだけの場合は、後ろ身頃に26cm ² 以内の 製造業者ロゴを1つ付け加えてよい。文字を入れてもよい。
	女子	両方の袖それぞれに39cm ² 以内の商業ロゴまたは製造業者ロゴを各2つ。商業ロ ゴまたは製造業者ロゴを39cm ² 以内の1パッチに2つまで付けられる。 文字を入れてもよい。文字の無い製造業者ロゴは77.5cm ² 以内で1つでも複数繰り返しでも、 各袖の 1つ の製造業者ロゴ または商業ロゴの代わりに 、袖またはわきの縫い目のど ちらかに付けてよい。
		袖ありシャツの前身頃または襟には39cm ² 以内の商業ロゴまたは製造業者ロゴを2 つ。前身頃または襟に1つだけの場合は、後ろ見頃に26cm ² 以内の製造業者ロゴを1つ付け 加えてもよい。文字を入れてもよい。 袖なしのシャツの前身頃には39cm ² 以内の商業ロゴまたは製造業者ロゴを4つ。ただ し、前見頃には最大3つ、そのうち商業ロゴは2つまで。また、前見頃と襟にロゴが3 つの場合は、後ろ見頃に26cm ² の製造業者ロゴ1つ。この場合も商業ロゴは2つまで。 文字を入れてもよい。
ショーツ スコート パンツ	男子	13cm ² 以内の製造業者ロゴを前後どこにでも2つ、または26cm ² 以内の製造業者ロゴを 前に1つ後ろに1つ。コンプレッションショーツには13cm ² 以内の製造業者ロゴを2つ、または26 cm ² 以内を1つ。文字を入れてもよい。
	女子	13cm ² 以内の製造業者ロゴを前後どこにでも2つ、または26cm ² 以内の製造業者ロゴを前に1つ と後ろに1つ。 太ももの中央よりも長い丈のレギンスをスコートやパンツ無しで着用する場合は上記ロゴを つけることができる。スコート/パンツと重ね着をするレギンスやコンプレッションショーツに は13cm ² 以内の製造業者ロゴを2つ、または26cm ² 以内を1つ。文字を入れてもよい。
ワンピース		ウエストから上部はシャツ、下部はスコートと見なす。
ソックスシューズ	男女共通	製造業者ロゴの大きさと数に制限はない。
ラケット		フレームとストリングへの製造業者ロゴは大きさと数の制限はない。
帽子 ヘッドバンド リストバンド コンプレッショ ンスリーブ	男女共通	帽子・ヘッドバンドは26cm ² 以内の製造業者ロゴを1つ。26cm ² 以内の商業ロゴ1つは 頭部の側面につける。リストバンドは26cm ² 以内の製造業者ロゴを1つ。コンプレッションス リーブは13cm ² 以内の製造業者ロゴを2つまたは26cm ² 以内の製造業者ロゴ1つ。
バッグ タオル その他 装備品 及び道具類	男女共通	テニス製品製造業者ロゴは数と大きさに制限なし。 1つのバッグに1つ39cm ² 以内の商業ロゴを2つ。 男子はATPラインの入ったラケットバッグの使用可。

最近の主なルールの変更点を以下に記載します。ご確認のほど、よろしくお願いいたします。

■2022年度

Q7) 電子機器の使用

プレーヤーは、試合中いかなる電子機器も使用することができない。スマートウォッチは電源が切られた状態でも試合中の着用は認められない。

■2023年度

男子ダブルスにおけるトイレットブレイクの回数に変更となった。

3セットマッチ1試合1回|試合ペアで2回だったものが1回に変更となった。

※ショートセット方式、マッチタイブレイク方式ともに、同じ基準とする。

■2024年度

Q7) 電子機器の使用

プレーヤーは、試合中いかなる電子機器も使用することができない。スマートウォッチは電源が切られた状態でも試合中の着用は認められない。

電動ファン付きジャケット・ベストの着用および電動ファンについては、各エンドチェンジセットブレイクの時間内に限り使用することができる。

ロゴ規定

男子のシャツ/セーター/上着

両方の袖それぞれに39cm²以内の商業ロゴまたは製造業者ロゴを2つ。

商業ロゴまたは製造業者ロゴを39cm以内の1パッチに2つまで付けられる。

文字のない製造業者ロゴは77.5cm²以内で1つでも複数繰り返しでも袖ま

たはわきの縫い目のどちらかに付けてよい。

男子の帽子、ヘッドバンド、リストバンド、マスク

帽子・ヘッドバンドは26cm²以内の製造業者ロゴを1つ。26cm²以内の商業ロゴ1つは頭部の側面につける。

リストバンドとマスクは26cm²以内の製造業者ロゴを1つ。

女子の帽子、ヘッドバンド、リストバンド、マスク

帽子・ヘッドバンドは19.5cm²以内の製造業者ロゴを1つ。19.5cm²以内の商業ロゴ1つは頭部の側面につける。

リストバンドとマスクは19.5cm²以内の製造業者ロゴを1つ。

セルフジャッジの方法

15)誤ったコールを訂正した場合(クレーコートを除く)

インだったボールを誤って「アウト」「フォールト」とコール(ミスジャッジ)したとしても

「グッド」に訂正(コレクション)し返球が正しく相手コートに入った場合、1回目は相手への故意ではない妨害としてポイントレットにする。そして、2回目以降は故意に妨害したとして失点する。

ただし、ミスジャッジの前に打たれたボールが明らかなウイニングショット・エース

または返球がアウトした場合は相手への妨害が起こっていないので、1回目であっても

ミスジャッジをしたプレーヤー・チームの失点となる。

ダブルスのペアの判定が食い違ったとしても「フォールト」「アウト」をコールしたプレーヤー／チームが

「グッド」に訂正した場合も同様の扱いとする。

■2025年度

規則30 コーチング

「コーチング」とはプレーヤーに対するあらゆる種類のアドバイスや指導の事である。
コート外からの**コーチング（オフコートコーチング）**はルールオブテニスに即して開催されるトーナメントに対し関係する認定機関(=JTA)によって**許可される場合がある**。

ロゴ規定

ITFに準ずる形に大幅に変更。詳細は「テニス大会出場時の服装と用具のコード(JTAルールブック抜粋)」参照

チェアアンパイアのつかない試合方法

レフェリー、アシスタントレフェリー、ロービングアンパイアの仕事

プレマッチミーティングにて、**フットフォールトはコートの内外からコールできる**ことをプレーヤーに伝える

■2026年度

c・「フットフォールト」はレフェリー(アシスタントレフェリー)、ロービングアンパイアのいずれか。

但し、コートの外からコールする場合は、選手に周知していることを条件とする。